レッスン：PYR 60

テーマ：14芒星

PYR 60/KE07 No.7 01/24

私の姉妹・兄弟たち、

スピリット、光、そして火の子供達よ｡私たちは常に主、絶対、主の聖性によって包まれています。

 以前のレッスンで14芒星について話しました。そしてそのシンボルは現在のパーソナリティーが可能性の大きなサイクルを完了するために、全ての転生のサイクルを経験しなければならないことを示していると説明しました。

　また、この14芒星は2つあると言いました。大きな14芒星は今述べたことを意味し、小さな14芒星は現在のパーソナリティーが一つの転生のなかで経験すること、つまり過去の全ての転生、経験の結果、そしてそのパーソナリティーがそこに新たに加えることに成功したことの結果として経験することを意味します。“加える”とは､何であれLifeそれ自体からの何かをさらに加えるということです。

　ですから、大きな14芒星にはその中にそのパーソナリティーそれ自体に、そして小さな14芒星は小さな五芒星が根付いている太陽神経叢の同じポイントに根付いています。

　また14芒星は外側の14のポイントのみならず、内側にもその中心点との間に14のポイントがあります。そして内側の14のポイントは最初の2つのサイクルです。内側のポイントと外側のポイントとの間の距離、そこには他の3つのサイクルが含まれています。実際にはそれは2つだけです、なぜなら5番目のサイクルは現在のパーソナリティーが4番目のサイクルをマスターした時に自動的に加えられるからです。

　さて、中心と内側のポイントとの間の距離、そこをカバーするためには多くの転生が必要です。なぜなら、転生の回数が最も多くなるのは2番目のサイクルであり、そこでは現在のパーソナリティーは多くの痛み、苦しみを経験します。勿論、そのパーソナリティーの無知は助けとなります。そして何であれそのパーソナリティーの行為の結果は、ある程度は原因結果の法則によって容赦されます。それによって、現在のパーソナリティーはその同じ転生中に厳しい結果を受けるのを避けることできますが、実際、そのために多くの転生が生み出されることになります。原因結果の法則をバランスのとれた状態にするために、その行為の結果はより多くの転生を必要とするようになります。

　さて、現在のパーソナリティーが3番目のサイクルに入る時、そこでは言い訳はあまりききませんが、原因結果の法則による結果は同じように現在のパーソナリティーを厳しく強制することはしません。

　さて、それほど厳しく強制しないと言いましたが、そこには理由があるのでしょうか？ここでは原因結果の法則による裁きはより偉大なのです。なぜなら現在のパーソナリティーは意識的に生き始めるようになり、徐々に何が真の価値で何がそうでないかを認識するようになるからです。そしてLifeそれ自体からもっと多くを現すようになり、適切でないことを避けるようになります…社会の法律にとって適切でないものではなく、Lifeの諸法則にとって適切でないことです。

　なぜそれらの結果はそれほど厳しくないのでしょうか？その理由は、審判、判断はずっと厳しいのですが、そのパーソナリティーは何であれ法則、つまりLifeの中にある原則に反する行為を避けるからです。それが本当の理由です。（そこでの）法則、審判はずっと厳しいのですが、それらの結果はそれほど大きなものではなく、そのパーソナリティーはそのサイクルをずっと速くマスターするように進んで行きます。速度がずっと速くなり、どんどん加速度がついていきます。そして説明したように、3番目のサイクルには2番目のサイクルのような多くの転生の回数はありません。

Page2

 私たちはまた14芒星は転生を定義しないと言いました。しかし、現在のパーソナリティーが通過しなければならないステーションはあります。14芒星の各ポイントを通過するのに、つまり一つのポイントから次のポイントに行くのに何回ぐらいの転生が必要であるかは決まっていません。もちろん、将来はそれらのポイントが何を意味するのかを分析します。

　以前のレッスンで、私たちには7つのアークエンジェルのオーダーがある、と言いました。そして今14のポイントについて話しています。そしてまたヤコブの梯子の14の段（ステップ）があります。そこには何らかの関係があると思いますか？

　7つのアークエンジェルのオーダーについて話しましたが、なぜヤコブの梯子の14のステップなのでしょうか？他の7は何を意味しているのでしょうか？それらはそれ以外の7つのアークエンジェルのオーダーでしょうか、それらは創造界での役割を持たないオーダーなのでしょうか？特に、実存の諸世界においては？その答えとは、他の7つのステップは、何であれ各アークエンジェルのオーダーが創造界において助けるためにエレメンタルとして創造しているものを意味します。

　私たちがセルフ（自己）を、一つのオーダーの能力と共に現すポイントに到達する時、自動的にそのパーソナリティーは何であれ全てのオーダーが行えることをすることが可能になります。そのような理由によって、自己実現した現在のパーソナリティーは何であれ全てのアークエンジェルのオーダーができることを行うことができるのです。なぜなら、アークエンジェルのオーダーとは対象的に、人間はプログラムされたセルフエピグノシスを持たないからです。アークエンジェルのオーダーは特定の仕事を行うためにプログラムされたセルフエピグノシスを有し、それ以上ではないからです。

　さて、再び14芒星に戻ります。現在のパーソナリティーが自己実現に到達し、もはや現在のパーソナリティーではなくなると、この14芒星はもはや役目を持ちません。言い換えれば、その名前のないパーソナリティーは（しかし、私たちはその現れを再び現在のパーソナリティーと呼びましょう）もはや14芒星を使う必要がないのです。そしてこの14芒星はまた現在のパーソナリティーのステートを意味し、そのステートにおいて現在のパーソナリティーは他の同胞の人間たちの痛みを背負うことができ、さらに他の同胞の人間のために十字架に掛けられることもできるのです。これが自己実現した現在のパーソナリティーにとって14芒星が意味することです。

　現在のパーソナリティーは自己実現するともはや現在のパーソナリティーではなくなります、なぜならその瞬間にサイコノエティカル体は高次ノエティカル体のなかに同化されないで、そのサイコノエティカル体はその現在のパーソナリティーと共にとどまります…名前をもたずに。

そしてその現在のパーソナリティーは高次ノエティカル体を使用することによって（それによって転生のサイクルにおいて続けるために）、完全に再形成されたサイコノエティカル体を使用することができるのです、しかし大きな14芒星を使用せずに。ですから、それぞれの、そして全ての現在のパーソナリティーの活動は定義されず、それは必要性により変わります。

　それでは小さな14芒星についてはどうでしょうか？小さな14芒星は太陽神経叢に根ざしています。この14芒星はその現在のパーソナリティーに伴い、その現在のパーソナリティーには名前があると思いますか？この小さな14芒星は何であれその現在のパーソナリティーが経なければならないものを定義しますが、同時に他の人々に体験を与えます。そして勿論、それすべてはその特定のパーソナリティーの以前の全ての転生と体験、およびその特定のパーソナリティーが関係していく他のすべての現在のパーソナリティーとのつながりにおいてそうなります。

　この小さな14芒星は自己実現した現在のパーソナリティーに付きそうと思いますか？答えはイエスです。ただ大きな14芒星はもはや前と同じようには自己実現した現在のパーソナリティーとはつながりません。

　14芒星のなかには他のシンボルを見いだすことができる、と言いました。そしてそのシンボルとは五芒星であり、それは大きな14芒星のなかにある時の、元型としての人間のイデアフォームを意味します。もしそれが小さな14芒星のなかに見いだされるなら、それは5つの感覚を意味します。真の感覚と影の感覚を。しかし同時にそれはまた元型である人間のイデアフォームを意味します。

Page3

 　なぜ小さな14芒星が感覚および元型である人間のイデアフォームを意味するのでしょうか？　自己実現した現在のパーソナリティーが大きなサイクルをマスターした時、それは最初の磔に到達したことを意味し、また同時に汎宇宙的キリストロゴスと同一の大きな三角形をマスターしたことを意味します。そして、ここにあるセンター、それは太陽神経叢のセンターを意味し、しかし同時にこの三角形はこの三角形（現在のパーソナリティーの三角形の上の三角形）と同一形です。それはそのパーソナリティーはまだ現在のパーソナリティーである間に真の感覚を使用できることを意味します、そして同時に何であれ高次ノエティカル体がその現在のパーソナリティーに提供するものを肉体の中にいても使用することができることを意味します。それゆえに五芒星は同時に五感と元型である人間のイデアフォームを意味するのです。そして元型である人間のイデアフォームは高次ノエティカル体であり、それはノエティック体と同じ波動です。そして両方ともスーパーサブスタンスの波動です。前回のレッスンで、ノエティック体と高次ノエティカル体の違いを説明しました。

　さて、名前は何を意味するのでしょうか？それはある現在のパーソナリティーが他の現在のパーソナリティーとは“異なる”ことを意味します。その違いとは何でしょうか？ある現在のパーソナリティーと別の現在のパーソナリティーとの違いとはLifeからどれだけ多くを現わしているかだけでなく、何がその現在のパーソナリティーがLifeそれ自体からより多くを現すことに成功させたか、ということです。つまり、どれだけ多くの経験がいわゆる個人性を創造しているか、です。それが創造界において、ある現在のパーソナリティーを他の全ての現在のパーソナリティーとの違いを生み出しています。それが名前が意味するものです。

　自己実現のステートにおいては、いかなる名前もありません。しかし、あなたが高次ノエティカル体を使用する瞬間に、それが起きるのです。しかし、あなたが完全に再形成されたサイコノエティカル体を使用する時、自動的にあなたは名前が必要となります。名前とは勿論、それまでの全ての転生、経験を意味します。そして、過去の転生のどれでも表面に浮上させることができるのみならず、同時に多くを表面に持ってくることができるのです。

　そして、表面に持ってくると言う時、記憶を思い出すということでしょうか？違います。それはあなたが前に存在していた場所でそれらを活性化させるということです、それによってそれらの地域で他の同胞の人々を助けるために。勿論、それは特に、それらの地域で人間達があなたと関係していて、あなたが彼等を助けたことを彼等が覚えている時に生じます。

　しかし、それは直接的なつながりでなければならないという意味ではありません。それは過去の記憶、または彼等の祖先の記憶かもしれません。そしてまた、過去におけるどれほど多くの転生であるかは問題ではありません。

　例えば、もし自己実現した誰かがある場所で500年前に生きていて、その地域の人々を助けたとします。その場所ではそのパーソナリティーを誰もが知っていて、尊敬されていて､人々はそのパーソナリティーに感謝していたとします。その地域において、それらの人々の心に焼き付いた思い出はとても強いので、彼等の子供達、そして後に続く人々の中にもその記憶が残っており、今でもそのパーソナリティーに助けを求めることが続いているとします。もし人々がそのパーソナリティーからの助けを願うと、その自己実現した人はその特定の地域で、助けを与えるためにその現在のパーソナリティーを物質化することさえできるのです。

　いいですか、このようなことは聖者達において生じています。そして時には人々は自分達を助けるために誰かがやって来るのを見た、という人々がいます。これが、そのようなことが起きた理由です。それはエレメンタルだけでなく、時には現実として起きます。ですから、「それは彼等がエレメンタルを生み出したにすぎない、それは彼等の想像にすぎない」などと言わないように時には注意する必要があります。

Q：それらの人々は現在でも実際に人々を助けるのですか？

K：彼等はかなり昔に生きていたにもかかわらず、各世代の人々はその特定のパーソナリティーの存在を信じています。その後、どれだけ多くの転生の後であったとしても、自己実現したパーソナリティーはその特定の場所とつながっていて、人々の信念は自動的に、自己実現した現在のパーソナリティーとつながるのです。

Q：アークエンジェルのエレメンタルについて少し説明してもらえますか？

Page4

K：エレメンタル（＊訳注：エレメンタルは辞書によれば四元素の精霊です）とは何であれ各オーダーが築くものであり、実存の諸世界において助けるためにエレメンタルを築いています。なぜなら、アークエンジェル達の実際の助けは実存の諸世界の中だからです。

Ｑ：それは1つの側面ですが、他の側面は？

Ｋ：他の側面はリアリティーにおけるステップです。つまり、あなたがアークエンジェルを意味するステップをマスターすると（特定のオーダーですが）、それはまた可能性、実際にはそのアークエンジェル達のプログラムされたセルフエピグノシスを意味するステップをマスターしたことを意味します；実存の諸世界でアークエンジェル達が行うようにプログラムされていること、それはエレメンタル、エンジェル達を創造することです。どのような種類のエレメンタルをアークエンジェル達は創造するのでしょうか？エンジェル達を創造するのです；そして以前のレッスンで分析したように、エンジェル達はまた他のエレメンタルその他を創造します。それゆえに７つではなく14のステップがあるのです。

　あなたが梯子を昇る時、一段、一段上っていき、何が起きているかというと私たちは両方のサイドを上に上昇していくのです。勿論、あなたの部屋のなかでの努力とは、現在のパーソナリティーに付き添っているそれらのアークエンジェル達と接触することです。そしてそれらのアークエンジェル達はまたあなたの現在のパーソナリティーがあなたに付きそうそれらのオーダーと接触するのを助けます。現在のパーソナリティーに付き添わない（少なくとも直接的には）唯一のオーダーは原因・結果の法則を意味するオーダーですが、しかし間接的には現在のパーソナリティーが肉体を使用している間は付き添っています。なぜなら自動的にサマエルによって付き添われているからです、なぜなら肉体はまた地のエレメントを使用して築かれているからです；しかし、私たちはサマエルとはつながっていません。私たちはまたラファエル、ガブリエル、ミカエルそしてウリエルの4つが付き添っています。他の3つはどうでしょうか？

Q：あなたは他の3つを知っていますか？私たちはそれらの名前を知りません。

K：あなた方は他の3つの名前を知る必要はありません。肉体を使用している間は私たちはそれらに付き添われていませんが、しかし彼等はこの肉体が生きていることができるように非常に大きな役割をしています。

　心臓の鼓動はどのようにして起きるのでしょうか？なぜ心臓は機能するのでしょうか？ですから、それを管轄しているオーダーがあるはずですが、そのオーダーにアプローチすることはできません。

　例えば、何が肺を動かしているのでしょうか？私たちは自分が空気を吸い込んでいると考えますが、しかし同時に私たちは意識しないでエネルギーを吸収しています。そしてエーテル活力（＊エーテルのエネルギー）を管轄しているアークエンジェルがあります。そしてまた、電気を管轄しているオーダーと非常に関係しているもう一つのアークエンジェルがあり、それは磁気を管轄しています。これら2つのアークエンジェルのオーダー、１つは電気、もう一つは磁気を管轄していますが、それらのアークエンジェルのオーダーはこの諸宇宙の調和を維持しているので、そのおかげで惑星同士が衝突しないですむのです。

　私たちはどのようにして落ちたり、上下に動いたりしないで地球の表面に立っていることができると思いますか？何が重力と磁気を生み出しているのでしょうか？もし私たちがこの地球上に物質を抑えているのと反対の極性を使用することができれば、その時私たちはテクニカルな手段で空を飛ぶことができるでしょう；そして私は人類が近い将来においてそれを達成すると信じています。

Ｑ：なぜ、アークエンジェル達の他の名前を知る必要がないのですか？

Ｋ：なぜなら、それらは書かれていないからです、ですから私はあなた方にそれらの詳細をお知らせしません。

Ｑ：ルシファーは7つのアークエンジェルの一つですか？

Ｋ：私がこのことを話すのは初めてです。彼は直接的にはアークエンジェルとつながっていません、なぜなら彼にはヒポスタシスがないからです。しかし間接的には何であれルシファーの仕事は私たちの内側に、全ての人の内側にあります。そしてルシファーの仕事は原因結果の法則であり、この法則は私たちのなかにあります。しかし、私たちの内側と言う時、それは現在のパーソナリティーを意味せず、私たちの中にあるLifeのスパークの中という意味です。

　彼はアークエンジェルですが、しかし現在のパーソナリティーはそのアークエンジェルのオーダーが管轄している法則とのみつながっています。私たちはそのアークエンジェル自体とは直接つながっていませんが、しかしパーソナリティーはその法則とつながっています。私たちはそのアークエンジェルのオーダーとの直接的なつながりはありません、なぜならそのアークエンジェルのオーダーはLifeのなかにあるからです。

　実際、生命の木においてそのアークエンジェルのオーダーはどこにあるでしょうか？ここ、及びここから下は、７つの主なアークエンジェルのオーダーと14のステップがあります、そのアークエンジェルのオーダーはどこに見いだすことができるでしょうか？人間がそのオーダーについて話す時、人間達は彼等はアークエンジェルであり、“転落した”と言います。まったく違います。それらのアークエンジェル達はLifeの中にあり、Lifeの中にとどまっています。そして何であれここから下は彼等が創造したものです、そこで見いだされ、現されているエレメンタルは彼等が創造したものです。

　Page5

 ですから、そのオーダーはLifeのなかに留まっています。それゆえに私たちはそれらのアークエンジェルとは直接的にはつながっていないのです。私の意味することがわかりますか？ルシファーという言葉は何を意味しているでしょうか？それらはlifeのなかに留まっていますが、しかしそのlife　はLifeそれ自体のなか、そして現在のパーソナリティーを活性化するLifeのスパークのなかにあるのです。そして結局、原因結果の法則とは、現在のパーソナリティーが適切な経験を経て啓発に向かって進んで行くように助ける法則なのです。原因結果の法則を過小評価すべきではありません。原因結果の法則なしでは、現在のパーソナリティーは前進して､Lifeそれ自体からより多くを現すことができないでしょう。

Q：あなたが７つのアークエンジェルのオーダーについて話す時、現在のパーソナリティーに付きそうアークエンジェルのオーダーについて述べているのですか？

K：違います、現在のパーソナリティーに付きそっているのは、既に話したように５つです。

Q：はい、しかし電気と磁気を管轄しているアークエンジェルのオーダーがあります。

K：それは現在のパーソナリティーにではありません。それらが私たちの内側で特定のヒポスタシスを有している、あるいは私たちに付き添っていると言うことはできません。それは提供されているそれらのアークエンジェルの仕事です、プログラムされたセルフエピグノシスが私たちに与えられているのです、実際の仕事です。わかりますか？

　現在のパーソナリティーに付きそう５つのアークエンジェルのオーダーと言いましたが、実際には４つあり、５番目のものは特定のオーダーを代表していません。そしてまた、現在のパーソナリティーに付きそうアークエンジェルはそれらが意味する特定のオーダーにモナドセルフとして属しているのではありません。彼等はオーダーから来るのではありません。彼等はオーダーを意味していますが、しかし彼等はオーダーからのものではないのです。ですから、実際、私たちは４つのオーダーに付き添われていると言うことさえも適切ではないかもしれません。

Q：あなたは14と言って、それから7つと言いました。他の7つとはどれですか？

K：それらはエンジェルであり、そしてエンジェルの創造物、そして他のものの創造物などです。多くのものがあります。ステップとは何であれアークエンジェルが助けるために創造していること、プログラムされたセルフエピグノシスが定義するものを意味します。

　例えば、あなたがミカエルとつながると、何であれ彼が行っていることは他の7つのステップのひとつを意味します。なぜなら各アークエンジェルのオーダーは、何であれそのオーダーができることを完了させるために2つのステップがあります。ですから、14のステップがありますが、あなたが何であれ特定のオーダーが行っていることを出来るようになる時には、あなたが2つのステップ（階段）を昇ることを意味します。

　さて、質問は私たちが一段づつ上に昇って行くのか、それとも別のやり方でいくのか、です。しかし、今の努力とは部屋から出て、Lifeのアベニューに入ることです。

　さて、ここからここまで、それは3番目のサイクルの動きです、なぜなら一度現在のパーソナリティーが…こちらのサイドは忘れてください、動きはこちらです、これは3番目のサイクルをマスターすることを意味します。つまり、そのパーソナリティーは真の五感を使うことができるという意味です。しかし、高次ノエティカル体を意味する五芒星はまだその体を意味していません。その体を意味するためにはそのパーソナリティーはいわゆる3番目の磔に到達する必要があります。その時初めて、それは実際にそれが意味するものを意味するようになります。なぜなら、今晩でさえ私たちはそれを分析しましたが、それは高次ノエティカル体と五感の両方を意味します。しかし、進化成長のプロセスにおいて、何であれまず最初に達成されるものは五感に関係するものです。しかし、元型としての人間のイデアフォームはまだ実行されていません。

　あなたは「はい、私はそれに向かって動きます。しかし両サイドはどうですか？」と言うかもしれません。これは真のワークが3番目のサイクルでスタートしたときに始まり、それ以前ではありません。そしてあなた方が上昇してここまで来ると、同時にあなた方は両サイドにより多く触れるようになります。

Ｑ：もしあなたが中央を上昇すると、それはあなたの気づきのレベルが増し、その結果それは上への動きに影響をもたらします。

Page6

Ｋ：それは動きに影響を与えます。そのやり方を教えられます。階段のある梯子をイメージし、そしてあなたは例えばミカエルのオーダーとつながり、その後にあなたがもう一つのステップを昇り、何であれミカエルが行うこととつながり、あなたがそれをすることができる、そして何であれラファエルがすることも出来る等。そうではありません。

　ここでは理解することにフォーカスしましたが、それをどのように行うかは別問題です。中央の柱を上昇していくと何が起きるか？それはもう一つの鍵です。最初の鍵は、説明したようにピラミッド､つまり墓から出ることです。なぜなら、このプロセスの間でさえも、あなたはピラミッドの中にいますが、どのピラミッドでしょうか？大きなピラミッドは墓の外側にあり、小さなピラミッドは地のエレメントのなかにあります。

Ｑ：数年前にあなたは14芒星について話し、それは王冠のようだと言いました。

Ｋ：はい、しかしイバラの冠のポイントを意味し、肉につきささる小枝を意味します。それはあなたが他の同胞の人間達の痛みを軽減することができるという名誉、その痛みを意味します。あなたは他人が経験しているもので“苦しむ”のです。それがイバラの冠が意味するものです。そしてあなたは他の人々のゴルゴダに従うことができるようになり、最終的に他人のために、常に主の名前において磔にされるという名誉を得るのです。なぜなら磔にされるのは主だからです。これがイバラの冠が与えるものであり、人々の痛みを軽減することができ、人々のために主の名前において十字架に掛けられるのは素晴らしいことです。

Ｑ：他の人々のために十字架にかけられると言いますが、それは私たちが十字架に掛けられるのを想像するような多くの苦しみを伴うのですか？それとも別の体験なのでしょうか？

K：このように説明しましょう。あなたが痛みを感じ、悲しみを感じますが、同時に言葉で言い表せないようなものがあります。それはあなたが理解するような喜びではないですが、言葉で言い表すことができないようなものです。それは“agaliasis”　であり、英語で最も近い言葉ではexaltation（感情の高揚）、あるいはjubilation（歓喜）となります。しかし、あなたが結果を見るとき、それは何か言葉や気持を越えたものです。誰かを助けることをLifeから許されるということは非常に名誉なことです；しかし、もしあなたがその結果を見れば、それは一般の言葉や気持では表現できないものです。しかし痛みがあるところには痛みがあり、悲しみがあります。

PYR 60/KE07 No.7 01/24